

Case 5) 80歳代 男性

標的病変: IVC～両側CFV病変

診断名: 重症血栓後症候群、両側下腿潰瘍(C6)

既往歴: 抗リン脂質抗体症候群疑い

現病歴: 約40年前に右下肢DVTを発症し、血栓除去術を受けている(詳細不明)。2～3年前より両側下腿潰瘍あり、近医皮膚科に通院していたが改善無し。2023年、COVID罹患時に造影CT検査を施行され、IVC～両側腸骨静脈の閉塞ならびに発達した側副血行路を認めた。圧迫療法ならびに創部処置が行われていたが、皮膚潰瘍の改善無し。静脈うっ滞の解除が潰瘍治癒には必要であり、今回、EVTを予定。

Cre 0.73 mg/dl、eGFR= 77.3 mL/min/m²

Case 5) 標的病變: IVC ~ 兩側CFV病變



